

## H25 農業土木課題解決予想問題

「アベノミクス」では、農業を成長戦略の柱として位置づけ、農家の所得を倍増させる目標を掲げた。そのためには、農業所得や農産物の・食品の輸出倍増させる必要がある。

これらを達成するための農業土木分野での課題を3つ挙げその解決の方向性を記述せよ

### 1. 現状分析

我が国の耕地面積は減少を続けており、ピーク時から約100万haも減少し、生産基盤の脆弱化をもたらしている。耕地面積減少の要因として、農地転用が38%、耕作放棄地が25%と、この二つが大半を占めている。

農地転用の原因として挙げられるのは、農業者の将来に対する不安から手放すケースである。これらを規模拡大を図る担い手へ供給すれば、耕作面積の減少にストップは可能である。そのためには、農地集約に向けた営農体制支援として、基盤整備や施設の老朽化対策、災害にも負けない農地整備が必要である。

他方、耕作放棄の背景には、農家の高齢化や農業の低収益性の他、相続で受け継いだものの農家を継がずに村を出る「不在地主」が耕作放棄しており、これらの受け皿づくりが急がれる。また、耕作放棄地にはかつて優良農地として利用されていたものも多く、生産基盤としてのポテンシャルは高いことから、再生利用は、我が国の食料生産向上には欠かせない。

一方で、農業を成長戦略の柱として位置づけるのには、かつて世界を席卷した製造業のように、収益を上げられる生産構造にする必要がある。そのためには、工業団地のような農業生産拠点の集約化や担い手不足、

高齢化による労働力低下を補う高度な機械化等が必要となっている。

## 2. 成長産業に向けた課題

上記の現状分析から、生産地域全体として食料生産の体質強化には、下記の農業生産基盤整備を行うべきである。

- (1) 担い手への農地集積
- (2) 耕作放棄地解消の推進
- (3) 新たな生産構造の創出

## 3. 解決策

- (1) 担い手への農地集積

解決策として、1) 生産性向上に向けた農地の整備促進、2) 老朽化した水利施設の長寿命化、3) 災害に強い農地の創出、などが挙げられる。

そのためには、4) 農地集約に向けて、水田・畑地の大区画化、用水路のパイプライン化、地下かんがい施設の整備、5) 老朽化した水利施設・ため池等の機能診断や補修等の長寿命化を推進、6) 水利施設・ため池等の耐震対策や排水対策の推進、などに取り組むべきである。

- (2) 耕作放棄地解消の推進

解決策として、1) 耕作放棄地の再生利用促進策の創造、2) 受け手不在の農地の中間的受け皿づくり、などハード及びソフト面の総合的な対策を行うべきである。

具体的には、3) 放棄された耕作地の需要を高めるた

め、機能を回復させる整備促進、4) 農地の中間管理機構を設立し、分散し錯綜した農地利用を整理した上で、集約化した農地を貸し付ける、などの取組が挙げられる。

### (3) 新たな生産構造の創出

解決策として、1) 規模拡大や機械化に対応できる生産構造の創出、2) 製造業並みの低コスト、・省力化の推進、などが挙げられる。

具体的には、3) 施設園芸をはじめとした、団地化農業の推進による規模拡大と大規模化、4) 機械化一貫体系の確立を図るため、農作業のロボット化、などによる省エネ化及び低コスト・省力化農業への取り組みを行うべきである。

— 以上 —